

目次

第Ⅰ部 世界のエネルギーの将来	一
結論	三
将来像の模索	六
重要な問題Ⅱ需給ギャップの存在	一〇
石油時代の終わり	一八
需要	二四
節約	二八
石炭	三一
天然ガス	三六
原子力	三九
水力発電	四三
その他の化石燃料	四四

太陽熱とその他の再生エネルギー	四
エネルギー価格	四
環境と気候	四
不確実性	五
国内的、国際的問題	五
結論	五
第Ⅱ部 エネルギー対話のフレームワーク	五
第1章 将来予測——WAESの研究方法	五
予測への挑戦	五
全体的フレームワーク	六
シナリオ変数	六
分析方法——エネルギー需要	八
分析方法——エネルギー供給	八
分析方法——エネルギー需給の統合(需給バランス)	八
第2章 エネルギー需要と節約	五
予測の前提	九
総エネルギー需要と成長率	一〇

部門別エネルギー需要	一五
燃料需要	一八
エネルギー節約	三三
第3章 石油	三九
石油の生産	三〇
石油供給の決定要因	三三
一九七五年末の確認埋蔵量	三六
一九五〇～一九七五年における確認埋蔵量の増加	三八
今後の新規の確認埋蔵量の増加	四一
確認埋蔵量の増加に関するWAESの仮定	四二
石油の需要	四七
石油需要と確認埋蔵量増加速度との組み合わせ	四八
現実の世界	五一
OPECと非OPEC	五三
一九七五～二〇〇〇年の非OPEC生産量	五五
二〇〇〇～二〇二五年の非OPEC生産量	五六
一九七五～二〇〇〇年のOPEC生産量	五七
二〇〇〇～二〇二五年のOPEC生産量	六二

自由世界全体の石油生産	132
一九八五年および二〇〇〇年の自由世界の石油需給バランス	135
より楽観的な未来は？	136
結論	136
第4章 天然ガス	137
ガスの生産	138
確認埋蔵量	138
究極可採埋蔵量	139
天然ガスの供給と需要（一九五〇～一九七二年）	141
天然ガスの供給と需要（一九七二～二〇〇〇年）	141
一九八五年と二〇〇〇年のガス輸入必要量	144
天然ガス貿易の可能性	146
一九八五年の天然ガスの供給と需要のバランス	148
二〇〇〇年の供給と需要のバランス	149
結論	149
第5章 石炭	149
石炭の現状	150
資源埋蔵量	151

需 要	二〇六
石炭供給の潜在的可能性	二〇八
石炭生産拡大のための政策的課題	二一六
石炭からの合成石油とガス	二一八
行動の必要性	二二一
第6章 原子力	二三三
W A E S のアプローチ	二三三
原子力発電能力のW A E S シナリオによる予測値	二三五
原子力安全論争の幾つかの特徴点	二三七
核燃料サイクル	二三〇
W A E S の原子力についての評価	二三七
原子力選択の段階	二四六
二〇〇〇年予測	二四九
核融合	二五一
W A E S の課題	二五三
第7章 その他化石燃料および再生可能エネルギー源	二五三
その他エネルギー源——結論	二六九
第8章 決定的問題——エネルギー需給のアンバランス	二七一

エネルギーバランス	二七一
W A E S エネルギー需給統合	二七三
概観——一九七二～一九八五～二〇〇〇年の統合されたエネルギー需給像	二七五
一九八五年のエネルギーバランスとアンバランス	二八九
二〇〇〇年のエネルギーバランスとアンバランス	二九三
一つのケースの例	二九八
その他のケース	三〇三
その他の不確実性	三〇六
結論	三〇八
付録	三一
付録1 発展途上国のエネルギーと経済成長の展望——一九六〇～二〇〇〇年	三三
序論	三四
エネルギー需要	三〇
エネルギー供給	三七
エネルギー需給の統合	三三
付録2 ワークショップメンバー、パネリスト、アシエイト、スタッフ (三四六～三四一)	三四一

